

# 新規漁場調査（アワビ） （要 旨）

勢村 均

## 1. 大社町宇竜地区

昭和60年7月22日に調査を行なった。人工礁設置予定区域内の水深4m未満は、主として岩盤上に径20cm～1mの転石が密に存在した。転石は水深が深くなるほど手では移動させにくかった。

クロアワビは水深3.5～6mにかけて出現し、密度は0.1個体/ $m^2$ であった。トコブシはクロアワビより浅い、水深2～3.5mにかけて出現し、密度は0.1～0.2個体/ $m^2$ であった。サザエは深い方が個体数が多く、密度は0.1～0.5個体/ $m^2$ であった。バフンウニは浅い方に多く、密度は0.1～0.7個体/ $m^2$ であった。アカウニおよびムラサキウニは深い方で多く、密度はアカウニ0.1～0.3個体/ $m^2$ 、ムラサキウニ0.1～0.9個体/ $m^2$ であった。

海藻類は浅所はアミジグサの単一群落、深所はアカモク、ノコギリモクの群落であった。

（詳細は「沿整協会ニュースNo.30、昭和60年度年間報告版」 島根県沿岸漁場整備開発協会、を参照のこと。）